

危険な風

風がモノクロームの独白を歩む
おめでたい信頼についての
また鉄槌を下すことについての
さらには本能的な狂気についての
それらに至る道筋を示す

いかなる過剰な防衛も許容すると、お前は笑うのか
滑稽な殺戮こそお前の通行を愉快にすると？
お前はあざ笑うのか
1次的な精度が2次的な精度を上回ると？
お前は精密な、かつは面倒な考証は好むまい

風は踊り狂う時計にも似ている
正確無比な拍節を有しつつ
無作為に踊り狂う時計は巻き込んでゆく
嘲笑と熱情をごちゃまぜに
その渦へと飲み込みながら

天国で怒りを呼び覚まされると
誰もが思い設けぬその裏切り行為に膝を着き
次元数の増えていることも
その故に価値基準が異なることも
気づかぬままに泣き叫ぶ

空気を切る風がある
竜のように空気を切る風がある
そいつには十分用心しなければならない
風通しのよさを好む者に魅入られ
鍵を盗み取られぬよう

(2001.9.13)